

【黔婁】ケンロウ・ケネル。〔校注〕高士傳、黔婁先生者、齊人也。↓〔參考〕曾子「一般には孔子の高弟、曾參(前五〇五—四三〇)だが、年代が合わない。↓〔參考〕注

魯黔婁妻

【其妻出戸】〔補注〕婦人送迎不出門、見兄弟不踰闕。此出戸、爲受甲也。甲、施於生者也。

【在牖下】〔補注〕始死、還戸於北牖下也。

【盤】ケキ・土部二画。焼かない燗瓦。

【積】〔補注〕ツクハウ。積。糸部一〇画

【不表】〔補注〕太平御覽、引作無表。表がすり切れてわたがはみ出ている状態を言う。

【邪】リ斜。なお、妻は、ななめの意によし

まの意をかけて用いている。

【以康爲諡】〔補注〕康也。

【充虛】〔補注〕虚。

【君嘗欲授之政以爲國相】齊王が黔婁を招聘して

【有餘貴也】十分に貴い地位にあつたからである、の意。「余貴」とは十分すぎる貴い地位のこと

【餘富】黔婁にとつて清貧は何よりの富であつたことをなぞらえる。

【甘】うましとす。〔淡味〕粗末なまじい食物

【折】キク。心部四画。〓欣

【詩曰】詩經陳風、東門之池篇、「かの美なる

【淑婉】シユクキ。淑は善の意、婉は貴婦人のこと。

【鄭箋】は「淑婉賢女」と言ひ、「つまり、賢明な婦人の意味に解する。淑、水部八画

【所習】コケン。今本は「所習」に作る。〔補注〕

【祝衾】カンケン。〔補注〕衾字失調。蓋衾字

【揜蔽】エンバイ。揜、弁ニシテ、弁部六画

魯黔婁先生之妻也。先生死。曾子與門人往弔之。其妻出戸。

曾子弔之。上堂見先生之戸、在牖下、枕墜席稿、經袍不表。

覆以布被、首足不盡斂。覆頭則足見、覆足則頭見。曾子曰、

邪引其被、則斂矣。妻曰、邪而有餘、不如正而不足也。先

生以不邪之故、能至於此。生時不邪、死而邪之、非先生意

也。曾子不能應。遂哭之曰、嗟乎、先生之終也、何以爲諡。

其妻曰、以康爲諡。曾子曰、先生在時、食不充虛、衣不蓋

形。死則手足不斂、旁無酒肉。生不得其美、死不得其榮。

何樂於此而諡爲康乎。其妻曰、昔先生、君嘗欲授之政、以

爲國相、辭而不爲。是有餘貴也。君嘗賜之粟三十鍾、先生

辭而不受。是有餘富也。彼先生者、甘天下之淡味、安天下

之卑位。不戚戚於貧賤、不忻忻於富貴。求仁而得仁、求義

而得義。其諡爲康、不亦宜乎。曾子曰、唯斯人也而有斯婦。

君子謂、黔婁妻、爲樂貧行道。詩曰、彼美淑姬、可與晤言。

此之謂也。

頌曰、黔婁既死、妻獨主喪。曾子弔焉、布衣褐衾。安賤甘淡、

不求豐美。尸不揜蔽、猶諡曰康。

〔參考〕『高士傳』中、黔婁先生

黔婁先生者、齊人也。脩身清節、不求進於諸侯。魯恭公聞其賢、遣

使致禮、賜粟三千鍾、欲以爲相、辭不受。齊王又禮之、以黃金百斤、

聘爲卿、又不就。著書四篇、言道家之務、號黔婁子。終身不屈、以

壽終。

【魯恭公】前三八二—三三五九在位。